

大人の音楽レッスン  
講師

ヤマハA・muse京橋



今月は、大阪の大東楽器アミューズ京橋で大人の音楽レッスンを受け持つ“けいこ先生”こと田中敬子さんをご紹介します。また、けいこ先生のもとに集まった生徒さんと結成したグループ「ダンディーズ」の活動もあわせてお伝えします。

みんなが笑顔で教室を後にするようなレッスンを

## 田中敬子（たなか・けいこ）さん

4歳からヤマハ音楽教室に通う。京都女子大学短期大学部初等教育学科卒業後、システム講師に。大阪の大東楽器アミューズ京橋で、大人の音楽レッスンを担当。94年、同教室に通う男性会員を中心に、エレクトーンを主体とした中高年アマチュアバンド「ダンディーズ」（現在、総勢13名、平均年齢62歳）の結成を発案、“けいこ先生”の愛称で慕われている。

## どんな仕事？

総勢13名、平均年齢62.8歳（04年7月現在）。大阪に、音楽に打ち込む元気な中高年たちとして、マスコミにも取り上げられているアマチュアバンドがある。知る人ぞ知る彼らは、その名も「ダンディーズ」。メンバーのプロフィールは、元消防士、会社社長、元医師、元郵便局員、元コンビニ店長、大手企業の部長…とさまざまだ。

94年、大東楽器アミューズ京橋にエレクトーンを習いに来ていた男性会員を中心に、ドラム、フルート、ギターを加えた10人編成で結成された。初舞台は『夢限'94』。97年以降は毎年エレクトーンフェスティバル（EF）に出場し、00年01年には、EF大阪B地区大会において2年連続で奨励賞を受賞。結成10周年の今年は、エレクトーン（7台）を主体に、ドラム、ギター、フルート、ハーモニカ、鉄琴、クラリネット…の13人編成で、さらなる飛躍を目指すことに。

バンドを指導するのは“けいこ先生”

こと、田中敬子さん。ダンディーズのマドンナ的存在であり、バンド結成の立役者である。

「お声をかけたのは、私ともうひとり、当時大人のレッスンを担当していた先生のふたりだったんですが、その先生は、結婚・出産を機に大人のレッスンを離れることになってしまって、以来、私がひとりで面倒をみさせてもらっています。最初は30代の方もいらしたんです。でも転勤などで抜けていって、いつの間にか、随分と平均年齢が高くなっていました（笑）」

ダンディーズの活動は、もっぱら秋のEFに向かって集中的に行われている。「練習は、通常のレッスンとは別枠で、セミナーという形で、期間限定でやらせていただいています。GW頃に曲決めをして、私が譜面を仕上げる時期にもよりますが、合同練習は7月末頃から始まり、お盆休みをはさんで月2回、直前になると毎週となります」

練習日には、必ずと言っていいほど反省会が行われている。

「要は飲み会なんです（笑）、メンバーの皆さんにとっては、それも楽しみ

のひとつなんです。反省会のほかにも、お正月には、作戦会議と称した新年会を行っていて、その年の演目のアイデアを練ったりしていますね」

ダンディーズのレパートリーは、すべてメドレー曲。アレンジはけいこ先生が担当している。ちなみに昨年のEFには、宮崎アニメのメドレー『マゴとジジの宅急便』で出場した。

「メドレー曲は、全員がどこかで主役になれるようにという狙いがあることなんです。選曲のポイントは、誰でも知っている曲。それと、中高年のおじさまたちという個性をアピールするには、見た目の面白さも外せないですね」

今年、ダンディーズに対抗すべく女性グループも立ち上げた。「ダンディーズがマスコミで取り上げられて、反響がすごく大きかったです。今年から新メンバーになったクラリネットの方も、そのなかのおひとりなんです。女性からのお問い合わせもたくさんいただいたんですね。前々から、女性グループを作りたいねという話は持ち上がっていましたので、いい機会

ということで、今いる生徒さんと新しい方たち、年代的には40代から60代、70代の方もいらっしゃったかな、まだ名前は決めてないんですが、10名ほどのグループで、秋のEFに向けて頑張りましょうということになりました」

## 仕事を始めたきっかけは？

4歳からヤマハ音楽教室に通い、短大卒業までエレクトーンのレッスンを続けていた田中さん。短大では初等教育を専攻。卒業後の進路については、学校の先生とヤマハの講師の二者選択で、悩んだという。

「ぎりぎりまで決められないでいたら、講師採用試験と教育実習の日程が重なってしまったんです。講師採用試験を受けることにしたのは、当時お世話になっていたヤマハの先生の、大丈夫よという、ひと言でした」

システム講師になった時点では、短大で学んだことが生かせると思っていた。ところが、受け持つことになったのは、大人のレッスン。

「短大で勉強してきたことを生かせる場



2003年のEF出場曲「マゴとジジの宅急便」を演奏してくださった後、けいこ先生を囲んで。

今年のEFでは民謡のメドレーを演奏するというダンディーズ。エレクトーンについて尋ねると「初めは難しく見えるけど、実際は初心者も楽しめて、自分たちにとっても合っている楽器だと思う」とのお答え。また、「たくさんのメンバーでやっているから、人数分の喜びが味わえる」「さまざまな職業の人が集まっているから社会勉強になる」など、アンサンブルする楽しさも語ってくれた。

有志で集まり、エレクトーンに他楽器や踊りを加えてのライブを行っている田中さん。ダンディーズの皆さんも必ず応援に駆けつけてくれるそうだ。



面は確かにあまりないですね(笑)。講師になって13年、ずっと大人のレッスン担当で、子どものクラスは持ったことがないので。でも、音楽を楽しむのに年齢は関係ありませんし、やってみたら、とって楽しくて、うれしい誤算でした」

## やりがいと苦勞

下は高校生から上は78歳まで、幅広い年代、さまざまな目的を持った生徒さんのレッスンを担当している、けいこ先生。グルーブレッスンでは、個々のレベルもペースも違うため、誰かが落ち込んでいないか、物足りなさを感じていないかと、ひとりひとりに声を掛けながら、全員が満足できるレッスンを心掛けているという。「落ち込んで帰られる方がいたりすると、気になって次のレッスンまで引きずることもあります。気持ちいいアンサンブルが聴けて、みなさんが笑顔で教室を後にするような、そういうレッスンができたときが一番うれしいですね」

グルーブレッスンの内容は、年に3回ほどあるイベントに向けて、そこで演奏する曲を仕上げるというレッスンが、半分以上を占めるそうだ。

「物足りない方には、個人レッスンで対応させていただいたり、グレード取得のための補習レッスンも行っていますが、大半の方は趣味として通っていらっしゃるの、テクニック的な指導はほどほどにして、楽しいレッスンをモットーにしています」

大人のレッスンでは、家での練習は強要していないが、コンスタントに発表の場を設けているせいか、そこで弾くことを励みに、熱心に練習してくる生徒さんも多いそう。「いいお仲間がいること、イベント出演という目標があることが、レッスンが長続きするポイントのような気がしますね。中高年の皆さんが、一番真面目に練習してくださるかな。進み具合は、若い人たちにはいきませんが、でも努力の分に応じたレッスンができるので、レッスンの甲斐があります。「目標がないと練習しないから、イベントに出るんだ」とおっしゃる方がいたり、ポジティブな方が多いんですよ。ダンディーズも、EFの後の反省会では、さて次のリベンジはどうしようかって、すぐに気持ちを切り替えているし。あ、こんなことをおっしゃる方もいます。「この教室に入ったら、辞められへんね。次のイベント控えてい

るものね」って(笑)」

実はこの取材には、ダンディーズのみなさんも集合(仕事の都合で全員とはいかなかったが)。けいこ先生の指揮で、覚えていたかなと照れ笑いしながら『マゴとジジの宅急便』を披露してくれた。目を閉じれば、おじいちゃんが縁側に座って、孫に昔話をきかせている、そんな光景が浮かんできそうな、素朴で温かな演奏だった。

エレクトーンや音楽に興味があっても、これまできっかけがつかめなかった人たちにとって、ダンディーズは希望の星なんですよと、けいこ先生。活動の幅をもっと広げたいという思いは先生も、メンバーの皆さんも一緒だ。「実は、演奏会やイベント出演のお誘いは少なくないんです。でも、エレクトーンだけで7台必要ですからね。それがネックで、残念なことにお断りせざるをえない状況なんです。もっと身軽な編成でということも考えてみたんですが、それではダンディーズの持ち味が半減してしまいますから。活動の場がもっと広がれば、大人のエレクトーン普及に貢献もできるし、ダンディーズにとっても大きな励みとなるはずなんですけど…残念ですね。でも、その分、EFですべてを出し切っていただいて、

中高年の方はもちろん、エレクトーンを楽しんでいる、いろんな世代の方たちの、励みになってもらえればいいなと思っています」

## やってみたいと思う人へアドバイス

「いろいろなものが求められると思いますが、グルーブレッスンでは、人の輪をちゃんと作れているかどうかで、レッスンの流れが変わってきますから、コミュニケーション能力が何より必要不可欠だと思います。技術的には、初見力ですね。生徒さんから突然、これ弾いてくださいって言われることがけっこうありますので、初見は苦手となると、立場的につらいですよ。レベルとしては7〜6級程度、月エレのスコアをパッとみて弾ける程度の力はつけておいたほうがいいと思います。初見力があって、人が好きで、音楽が大好きであれば、とても楽しい仕事になると思います」 (文・大和敬子)

ダンディーズ HP  
<http://www.kinet-tv.ne.jp/~tkon/dandies/>